

築港・天保山エリアのにぎわいづくりと将来的なまちづくりに向けたロードマップ<イメージ>

資料-1

			フェーズ1					フェーズ2 (32年度～38年度)		フェーズ3 (39年度以降)	
			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			
凡例			エリアイメージ向上・ブランド化								
			民間活力導入の検討			民間活力の誘導			民間活力を活用した官民協働のまちづくり		
「築港・天保山まちづくり計画策定」			素案策定 〔委託〕		計画策定	計画の実行（経済戦略局・都市計画局・都市整備局・建設局・港湾局・港区役所等）					
I 国内外からの 観光客の受入れ環境整備	1 情報発信	① エリアブランディングの促進	■ エリアブランドの向上 ■ メディア等への情報発信 ■ 花の海遊ロードの美装化								
		② わかりやすいエリア情報の案内	ロゴマーク・ガイドブック作成	HP・SNSでのエリア情報発信	エリア魅力スポット案内板の検討	■ 情報紙・マップ・HP・SNS等によるエリア魅力（イベント・食・見所・クルーズ来航情報等）の発信 ■ ICTの検討：WiFi ・ QRコード・デジタルサイネージ等の整備・運営（民間） ■ 分かりやすい案内表示板の設置 ■ 国内外の観光客に対応した多言語案内の整備					
	2 滞在時間の増加	① 回遊性の向上	★「回遊性向上案内・誘導計画」策定	魅力を紹介する案内板設置	大阪周遊バスを利用した地区の回遊性向上の検討	■ 大人数で食事できる場所などの充実 ■ 大阪周遊バス等の施設間連携等による地区の回遊性向上 ■ モビリティの導入					
					モビリティ（レンタサイクル、超小型モビリティ等）導入の検討	■ 水辺を楽しむ遊歩道の整備（天保山ハーバービレッジ～中央突堤～赤レンガ倉庫）					
					サインPTを踏まえた案内整備の検討						
		② まちなみの美化・修景（花の海遊ロードシンボルロード化）			まちなみの美化・修景 花の海遊ロードシンボルロード化に向けた検討	■ まちなみ修景、統一感の演出に向けたルールづくり ■ シンボルロードとしてのまちなみ修景・にぎわい創出 ■ 花の海遊ロードの美装化、街路灯の更新					
II 集客・観光	1 既存資源の活用	① 臨港緑地や天保山公園の利活用	■ 中央突堤緑地の利活用 ■ 天保山公園の利活用 ■ 花の海遊ロードでの飲食スペース等のにぎわい創出 ■ にぎわい創出に向けたマルシェ、フリマ等の社会実験								
		② まちなかの資源の活用	■ にぎわい創出に向けた空き家や空き地の活用 ■ 建築物の修景整備の促進								
	2 新たな機能整備	① 水辺のにぎわいづくり	「海・船」をテーマに天保山まつりを実施	中之島GATE、大正等との舟運社会実験（大正区役所）	■ 水辺拠点間の舟運事業の展開 ■ 舟運を活用したプロモーション ■ 舟運事業の水辺拠点化に向けた規制緩和と社会実験 ■ 民間事業者による舟運・船着場等の管理運営						
		② 観光商品の開発と国内外への強力なプロモーション、新たな観光拠点の整備		観光地域まちづくりアクションプログラムの推進（官民協働）							
			観光客満足度・ニーズ調査 舟運事業者ニーズ調査	■ 発地において着地型観光を観光プランに組み込むプロモーション ■ 他の観光拠点と連携したプロモーション・戦略的広報による効果的な情報発信 ■ 築港・天保山エリアの魅力創出（イベント・ニューツーリズム・ロケ地・食・景観・みやげもの等）							
III 居住促進	1 居住地魅力の向上・発信	① 居住促進プロモーションの展開	■ エリア内の居住地魅力の発信								
		② 居住環境の改善	■ 子育て・教育環境の充実 ■ スーパーなど生活利便施設の充実								
		③ 住宅供給の促進	■ 新規住宅の供給 ■ 既存住宅ストックの活用								
IV クルーズ客船母港化に向けた取組み			民間需要調査	PFI方式による事業者公募に係る支援業務	■ 民間活力を導入した天保山客船ターミナルの整備と運営 ・スピーディなバゲージの受渡施設の設置 ・迅速な手続可能なCIQ施設の設置 ■ クルーズ客船母港にふさわしい受入環境の整備 ・観光案内、買物、両替などのインフォメーションの充実						

めざす将来像

- ◆水都大阪の玄関口として世界にアピール する集客観光拠点
- ◆ベイエリアの魅力あふれる訪れたいまち・住みたいまち



超小型モビリティMICHIM



UMEGLE-CHARI  
うめぐるチャリ



てんしばパーク



横浜市みなとみらい